

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SMASPO箕面			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 20日 ～ 2025年 3月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数)	35
○従業者評価実施期間	2025年 3月 15日 ～ 2025年 3月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	就学を見据えて、月ごとのテーマに沿ったプログラムを、スタッフで立てている。 また、年間を通して実施プログラムが重複しないよう工夫ができる。	就学に向け、利用児ひとりひとりにあった支援ができるよう、臨機応変に対応している。	利用児ひとりひとりに合った支援ができるよう、今後も引き続き継続する。
2	利用児が安心できる、たのしく体を動かせる環境づくり	運動がメインのため、利用児が気持ちよく動けるようなスペースづくりと、自由に運動するための声掛け	安心して運動できるよう、安全性をより徹底していく。
3	定期的な研修参加。	運動療育プログラムの研修を毎月実施している。	今後も利用児が楽しめるプログラムを実施するため、引き続き継続する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園などと、活動の交流がない。	実施しているイベントは、ご利用者のみ、またはご利用者様との親子イベントのみだったため。	事業所側が地域の行事などに参加することで理解していただくことを検討している。
2	事業所でのイベントに、利用者以外の地域住民招待などを実施できていない。	実施しているイベントは、ご利用者向けのイベント(親子イベント)のみだったため。	事業所側が地域の行事などに参加することで理解していただくことを検討している。
3	地域の児童発達支援センターなどとの連携が多く出ていない。	ご利用者様の希望に応じることがとっているため、児童支援センターなどと連携実施する機会が少なかった。	ご利用者様の希望に応じることはもちろん、今後は地域児童発達支援センターなどと連携を図ることができる機会を検討していく。